

No.	医療機関名	設置主体	現状														今後の方向性														2017年と2025年の病床数の差異																			
			第7期保健医療計画における役割 (※「医療機関一覧表」記載の有無)							医師数等 (2017年病床機能報告結果)							機能別病床数① (2017年病床機能報告結果)							各プラン、事業計画に記載された担うべき役割							機能別病床数② (アンケート結果)							②-①												
			がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	医師数	病床利用率	平均在床日数	救急車受入件数	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	非稼動	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・廃止等	介護医療院への転換	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・廃止等	介護医療院への転換	
7	国保上矢作病院	公立				○						5.0	72.0%	23.1	185	56	0	19	37	0	0					○								56	0	19	37	0	0		0	0	0	0	0	0				
			<p>○地域における回復期機能及び慢性期機能として担えるか検討する。地域の現状を考慮し、現在の急性期病床は一定程度維持していく必要はあるが、規模(病床数)の適正化を検討する。</p> <p>●2025年の病床数(予定)は、現状維持</p>																																															
8	東濃厚生病院	公的医療機関等2025プラン対象		○	○	○					○	39.0	76.7%	16.2	2,017	270	0	270	0	0	0	0		○	○	○	○		○	○			○	270	55	215	0	0	0		0	55	▲55	0	0	0				
			<p>○限られた医療資源の中で「地域完結型」の医療を支える役割が必要であり、地域の医療需要に応えるため急性期医療の中核的役割を担う</p> <p>○東濃中部地域の救急医療体制の強化</p> <p>○地域の医療機関との連携の推進</p> <p>○地域包括ケアシステムの構築に向けた病床機能の再編及び行政、他医療機関等との連携強化による在宅療養患者の受入体制の充実</p> <p>○がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病に対する診療体制の充実及び連携強化</p> <p>○災害発生時の医療提供体制に係る行政及び近隣医療機関との連携強化</p> <p>○疾病の予防及び早期発見のため、検診事業の拡充に係る行政との連携強化</p> <p>○重症心身障がい児者短期入所事業、新型インフルエンザ対策、鳥インフルエンザ対策に対応できる体制の確保 (詳細は別添「2025プラン」参照)</p> <p>●2025年に向け、急性期55床を高度急性期へ転換</p>																																															
8病院計																	2,194	280	1,406	238	70	200	200															2,045	329	1,261	267	70	118	0	▲149	49	▲145	29	0	▲82

備考欄の
○は、アンケートの「2025年に向けて担うべき役割」から転記(抜粋)
●は、2017年度の機能別病床数と2025年の機能別病床数(予定)を比較したコメントを記載